

2022  
12・15

まついだ バリアフリーペンション  
まついだ  
森の家通信

NPO法人 まついだ森の家  
〒379-0211  
群馬県安中市松井田町  
上増田670  
TEL / FAX 027-393-0655  
HP・FB:「まついだ森の家」  
Email:  
matsuida.morinoie@gmail.com



## 小沢眞互氏より 森の家の土地をご寄付いただきました

思い起こせば1990年（平成2）、横浜で共に障害福祉の仕事をしていた小沢眞互・征代夫妻が、この地を購入されたのが、まついだ森の家の始まりです。自然の中に障害のある人たちが安心して泊まれる宿を作りたいとの想いで候補地を探す中、松井田町役場の紹介で出会った土地でした。

小沢夫妻を応援するたくさんの方々のおかげで1996年6月、バリアフリーペンションまついだ森の家はオープンしました。

当初から利益目的ではなく、障がいある方々の仕事場や住まいもと夢も広がっていましたが、初代社長征代氏をオープンまもなく病で失うなど、宿の運営で手一杯。一度はつぶれかけましたが、皆様のご支援で2007年NPO法人として再出発して今年で27年目です。

その間、横浜で障害福祉に邁進しておられた小沢眞互氏には、土地を無償でお借りしてきました。今回、小沢氏からのお申し出により、敷地約200坪（他に森の家の敷地周辺の山林含む）を、無償譲渡いただけることになりました。

森の家にとってかけがえのないご寄付、小沢氏には深く感謝申し上げます。

今後、創業の想いにも立ち返りながら、この土地を生かすよう、新たな歩みを進めてまいります。ありがとうございました。

# ご報告

## 2021年度

- 5月10日～ 新スタッフ体制で営業再開  
(金)(土)(日)(祝)のみ。
- 5月23日 理事会総会開催
- 7月 福祉車両購入  
(須崎福祉財団の助成による)
- 10月 食事付き宿泊再開
- 11月 通信30号発行
- 11月24日 「小さな音楽会」開催

## 2022年度

- 5月22日 理事会・総会開催
- 6月 外壁補修
- 9月 障害福祉支援事業所(B型)開設準備委員会の設置を理事会承認

## 営業実績

コロナ禍の影響が残り、今年度も苦戦が続いています。宿泊日を限定していますが、平日は貸し切りでのご利用をお受けしています。

### 2021年度

宿泊者合計 63 (うち素泊37)  
 デイ利用 6グループ  
 子ども食堂利用 8回

### 2022年度 上半期

宿泊者 38 (素泊7)  
 デイ利用 2グループ  
 子ども食堂利用 6回  
 貸し切り宿泊 3回

## 2022年度現場スタッフ

- 三浦千鶴子(女将業務、事務、会計、調理、その他全般)
- 石橋邦和(バックヤード、修繕、周辺整備)
- 中村実紀(厨房臨時対応)
- 黒羽知代(サポートボランティア)

## 2022年度役員

- 理事長 : 木下美幸
- 副理事長 : 鈴木成就
- 理事 : 黒羽知代・三浦千鶴子
- 監事 : 星野和二

### 2021年度 決算

主な収入	国・市からの補助金	1,000,000	
	会費・寄付	1,780,000	
	売上	530,000	
	福祉車両購入用助成金	1,690,000	
		5,000,000	
主な支出	人件費	1,530,000	
	経費	1,270,000	
	福祉車両購入費	1,860,000	
		4,660,000	
			収支差額 340,000

予算では大幅な赤字を見込んでいたが、国・市からの補助金・および会費寄付さらに経費節減の努力等により若干の黒字となった。

### 2022年度 予算

	予算	上期実績	修正予算	
主な収入	国・市からの補助金	1,300,000	1,000,000	1300000
	会費寄付	1,850,000	295,900	1295900
	売上	700,000	634,194	1034194
			3630094	
主な支出	人件費	1,710,000	799,702	1654702
	経費	2,431,000	940,892	1940892
	予備費	600,000	104,500	604500
				4200094
	収支差額	-891,000	85,000	-570000

上期は宿泊者の微増、経費節減によりかろうじて黒字となったが大幅赤字見通し

# 「森の家」の現況 そして新たな方向性

コロナによる宿泊客の落ち込みは3年目を迎えましたが、会員皆様の支援と寄付や、多くの方のご協力、またコロナ関連の給付金等でなんとか続ける事が出来ています。本当に感謝しかありません。

もともと利益を追求する体質構造の事業ではないところに数年来事業継承の問題があり、さらにコロナによる打撃。収入が少ないために十分な人員が確保出来ないという悪循環。今まではボランティア的労働で何とかしてきたものの、続けていくにはどうしても根本的な改革が必要です。

今年、横浜から宿泊でボランティア参加された方々との会話中、森の家の今後の持続の困難さを語ったスタッフに対し、**これまで森の家が積み上げてきた経験と素晴らしい環境を提供し「就労支援B型事業所」（以下就労B）としてやっていく可能性が提案されました。**過去、森の家としても就労Bや居宅介護事業も選択肢として挙がってはいましたが、力不足で実現に至りませんでした。

今回の提案をされた榎本則幸氏は、神奈川県内の障害者福祉施設で施設長を歴任し、就労B事業所の開設や新設大学の開設に従事。現在、開設した大学の人間福祉学部で専任教員をされています。またご一緒の大部さつき氏は障害者の親御さんで神奈川県手をつなぐ育成会の常任理事であり、（特）成年後見センターで理事兼後見専門員として活動しておられます。

その後その件につき迅速かつ頻繁に意見交換を重ねた結果、

9月理事会において、

**「森の家としてあり続けるために、  
就労支援B型事業所設立に向けて準備会を立ち上げる」  
ことを決議いたしました。**

設立準備委員会委員長に榎本氏をお願いし、大部氏にもご協力をいただきます。1年半から2年をかけて着実に準備を重ねます。ご利用者の仕事内容として、宿の環境整備やバックヤード業務を考えております。

（里山の環境を生かした農業・農産加工品作り等ができれば、創立当初の夢も叶います。）

**「まついだ森の家」が障がいがあってもなくても安心して泊まれる  
バリアフリーの宿である事に変わりはありません。**

会員の皆様、ご支援くださっている皆様にも、この道筋をご理解いただき、引き続き見守りご支援くださいますよう、どうぞよろしく願いいたします。

NPO法人まついだ森の家 理事長 木下 美幸  
役員一同

# こんなお客様をお迎えしました①



藤岡特別支援学校高等部1年生7名。  
森の家での宿泊を考えてあしかけ5年。  
コロナを越えて粘り強くコンタクトをとってくださった先生のご努力でついに実現した一泊旅行。  
1日目昼食はピザ作り体験。  
自分で伸ばした生地好きな具材をトッピングして焼き立てを食べる。  
午後はメインプログラム音楽体験。  
「スマイルビート」の清水和美先生（伊勢崎）の多彩な楽器を使っての1時間、みんなノリノリ！  
**音楽って素敵だね！**

東京港区から車イスの健くん（小4）とご両親  
「旅は子供にとって貴重な成長のチャンス」との主治医の言葉に励まされてとお母さん。  
次なる挑戦はIPADの視線入力だとか。  
「港区だから恵まれてるのでは無く、良い環境は、親が率先して学んで働きかけ、仲間と共に動いて獲得していくもの、待ってても来ない！」  
**ほんとうですね。**



## こんなお客様をお迎えしました②

車いすのLADYお二人。  
前橋と藤沢でそれぞれソーシャルワーカーとして働いておられますが、  
研修で行ったデンマークの障害者の生活に大いに勇気づけられ、以来意気投合して、  
地域での一人暮らしを目指しているとのこと夜を徹して語り合い軽井沢を楽しんでエネルギーチャージされたのでしょうか？

**メールを送ります！**

(送迎用福祉車両のうち1台は安中市社協からお借りました)



小さい時から毎年夏に来ている横浜のYくんご家族。  
コロナで来れなかった間、Yくんは何度も「森の家」と言っていたそうです。  
今回一棟貸し&夕食BBQプラン。  
全館貸し切りで気持ちのびのび、お肉で満腹でした！

「一棟貸しセルフプラン」のモニターご利用にて。  
福祉と情報とデザインの統合をめざす  
東京の大学の先生グループ6名様  
森の家全館5室、素泊まりで、一泊20,000円  
研究発表後の打ち上げと  
宿泊ゼミの下見を兼ねてのご宿泊でした。  
学生さんのご利用にはピッタリのプランかも!?  
**ご利用お待ちしております!!**



# トピックス

**赤い羽根共同募金をいただけることになりました。（2022年度の安中市配分に決定）**

自分たちで建設した森の家の建物、27年間に、屋根の塗り替えと屋根付きデッキの新設の他はほとんど自力の補修のみでやってきました。何時かは大規模な修繕と思いながら、資金のめどがつきませんでした。今回、コロナ禍と世代交代に背中を押され、改修に着手。自己資金により外壁の一部張り替えはすでに終了。今回の配分金（667,000円）で来年度はさらに外壁南面の改修ができます。窓枠、二重ガラス窓、樋の交換さらにはバリアフリー設備のリニューアルも必要。さらなる資金が必要ですが、少しずつ取り組んでまいります。

## 神保弘版画回顧展 (2022・11・18～27)

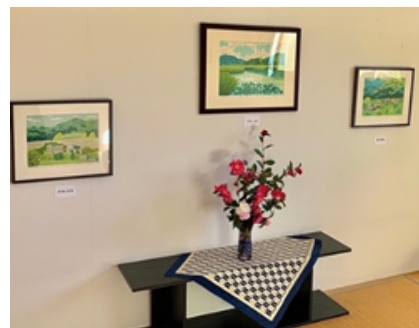


長年森の家の活動に理解とご支援をお寄せくださった磯部の神保先生が今春96歳でなくなられました。

その優れた版画作品は多くの方々手にわたり親しまれてきました。その作品群をより多くの方々にご覧いただくと共に、市内の小中学校で38年間教職にあり、退職後は社会福祉法人「光の里」の設立に尽力、初代後援会長も務められた業績とお人柄をしのびたく、有志で開催いたしました。

10日間の期間中80点近い作品を展示、延べ170人がご来場。ご高齢の教え子さん、光の里設立当時からの関係者、版画教室の生徒さん、ワークショップきぼうのアート活動の仲間、上毛新聞の掲載記事を見て等。皆さん、森の家の秋の自然の空気の中で、ゆったりと思ひ思いに鑑賞され、またご遺族と語り合っていました。

(今後は、一部を常設展示いたします)



## ピザ作り後継者 募集！

森の家のピザ作り、石窯を作るところから、薪の用意、ピザ生地とピザソース作り、具材の用意まで、何もかも一手にお引き受けしていただいているスーパーボランティア星野和二さん。ご自分が元気なうちに、このノウハウを次世代に伝えたいと考えておられます。まずは作って焼いてみるるところから一緒にいかがでしょうか？

# 利用案内

## 森の家貸し切り宿泊プランがリニューアル！

◎貸別荘 標準プラン3万円

素泊まりのスタッフがいないバージョンです

◎貸別荘 セルフお掃除プラン2万円

標準プランとの違いは、退館時にお客様ご自身でお掃除していただくこと・・・。

\*こんな感じでお使いください\*

IN 14:00 ~ OUT 10:00 時間外のご利用はご相談ください

大人子供合計14名様まで

チェックイン時に森の家の鍵をお渡し。アウト時返却

シャワー利用無料、入浴利用は追加オプション（要予約）

施設内キッチン、調理器具、調理家電、おもちゃなど利用無料

詳しくはHP、またはお電話にて

\*こちらのプランは平日のご宿泊も承ります。

## いつものプランも承ります

## 営業日は (金)(土)(日)及び祝日

◎素泊まりプラン

5,000円/名 小学生以下半額

◎朝・夕食付プラン

8,500円 小学生以下半額

◆障がい者手帳をお持ちの方.

500円引き

◆ミキサー、刻み食対応

1,000円増し

◆ハイシーズン

1,000円増し (年越し GW お盆)

永井興子さん主催の子ども食堂も

健在です。毎月第一日曜日。

冬はお休みですが、いつものメンバーや

ご新規さまの交流、時には音楽隊の素敵

な音楽や、楽しい手品など！毎回楽しそ

うなおしゃべりも溢れています。



写真：みんなの食堂 in まついだ森の家

# 会費・寄付 納入者 お名前（敬称略）

## 2021年後期（2021・10・1～2022・3・31）

### 正会員

藤尾正明 三木順一 三木洋子 星野和二 須藤昇 佐藤かほる 中村実紀

### 賛助会員

甘田瑠美 高橋太輔 能登宣彦・美津子 中嶋晃彦 春木貫志 佐藤和枝 沖山雪子  
加藤（鎌田）えみ子 神保弘 長山由利子 青木徳男・みどり 大井広行・加代子 若塚ひろ子  
市村八千代 吉井まゆみ 岩崎和子 上野正・敬子 上野英雄 山川賢治 仲世古隆臣  
金子由紀子 藤尾孝枝 福田孝子 岡庭秀雄 小暮栄子 金田一幸江 高橋真人 中嶋朗  
内堀幸恵 南部康光 小久保雅子 徳久純恵 大久保妙子 上杉洋子 片山克司 石井義通  
本多栄一 山根英里子 浜本洋 櫻井郁 大脇ゆり江 本多栄一 長居由子 多胡英子  
萩原富司 中山幸彦 広瀬ちか代 マリヤクリニック 岡崎保義 福田晋児・典子 靄田みずき  
大橋好江 杉木京子 松山 巖 松田直樹・尋子 大道寺玲子 岡本美子 重国毅 佐藤久美子  
中澤康子 佐藤祥子 向井善彦 森下修 森下博子 藤尾正栄 櫻井喜久江 川田明美 石原作  
知子 古川佐喜子 東出桂子 加藤恵美子 田嶋秀記 佐嶋貞康 角幸子 佐藤千賀子  
森田茂 織茂加代子 柴崎智美 林崎正史 古溪繁子 永田邦彦 大嶋元彦 小此木努  
斉藤真裕美 高階ミチ 岸篤 原田てる子 内田康子 本田豊 小林和夫 眞下美幸 影山敦子  
伊達富美子

### 寄付

堤恵一郎 加藤久雄 江原愛子 阪本美乃里 安居益也 佐藤かほる

## 2022年前期（2022・4・1～2022・9・30）

### 正会員

木下美幸 中村実紀 中村知博 瀧澤久美子 佐藤貴雄 鈴木成就 鈴木光子 黒羽知代

### 賛助会員

今村井子 櫻庭秀喜 中嶋晃彦 井原紀美子 岡寿子 天田文子 本田豊 甘田恵子  
岡島春枝・佳樹 山口克美 高見沢公彦

### 寄付

佐藤かほる ボランティアサークルたんぽぽ 嶋村楓太郎 鈴木成就 瀧澤久美子 井原紀美子  
高木・林田 富樫正義・真澄

### 物品寄付

清涼飲料水・お茶PB・りんご・桃

コロナ禍の逆風の中、細々とでも次の時代へつなぎたい森の家の志を応援してくださる皆様に心より感謝申し上げます。次回のご報告を楽しみにお待ちしております。

## 会費・ご寄付いつでも受け付けております

年会費：賛助会員 一口 10,000円 3,000円

お振込先 ゆうちょ銀行 口座番号 00100-9-631-710

「森の家応援特別キャンペーン宿泊券付き特別ご寄付」の宿泊券をお持ちの方へ  
コロナ禍が長引いたため、当初の使用可能期間を大幅に延長いたします。

2025年度末まで、どうぞご利用ください。

お待ちしております